

タテ科 イヌタテ属

シンミズヒキ (新水引)

Persicaria neofiliformis (Nakai) Ohki

自生環境

林内

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



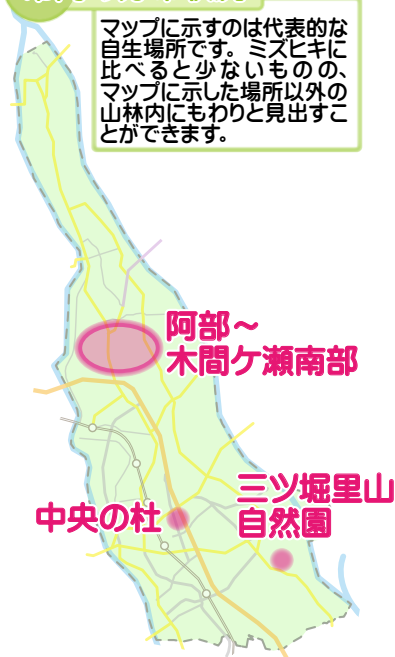
ミズヒキよりも少なく、生育する環境を選ぶ傾向があります。自生地が荒廃したり、開発等で失われると、地域からそのまま消滅してしまう可能性があります。

特徴

- ☆ 林内に自生し、同じ仲間のミズヒキといっしょに生えているのをしばしば見かけます。ただ、ミズヒキに比べると数は少なめです。
- ☆ 見た目はミズヒキにそっくりですが、葉に毛はほとんどなくてのっぺりした感じで、少し光沢があります。また葉先がツバメの尾のように長くのびる傾向があります。
- ☆ 花の色や形はミズヒキとほぼ同じです。花びらは4枚、上半分が赤色、下半分が白色になっています。花の後も花びらがずっと残り、果実を包むため、果実期になっても赤い穂を楽しむことができます。

市内の分布状況

マップに示すのは代表的な自生場所です。ミズヒキに比べると少ないものの、マップに示した場所以外の山林内にもわりと見出すことができます。



名前のシンは新？

シンミズヒキの名前に冠してある「シン」、その由来ははっきりしません。植物学者として著名な牧野富太郎博士が執筆した図鑑にも掲載されている種類ですが、名前の由来として決め手になる記述はありません。ただ、学名の種小名（個々の種を現わす部分）が *neofiliformis* で、ミズヒキの *filiformis* に「新しい」を意味する *neo* を冠したもので、それが関係しているという説があります。

茎の先から
長い穂がのびる



花は上半分が赤色
下半分が白色



果実は赤い
花びらに包まれる



めしべの先が
くると巻く

葉の先は
しっぽのように
長くのびる



わぴちゃんねる

千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

